

「もんじゅ」新たな電源車の配備について

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故を踏まえた緊急安全対策として、外部電源が喪失し、かつ、非常用ディーゼル発電機が機能せず、全交流電源喪失となった場合でも、プラント状態の監視、補助冷却設備制御機能及び炉外燃料貯蔵槽の冷却機能を維持できるよう、3月18日に電源車(500kVA×1台 関西電力(株)殿より借用)を配備し運用してきました。(3月18日 週報にてお知らせ済み)

本日8月12日、6月7日付け、経済産業大臣からの「平成23年福島第一原子力発電所事故を踏まえた他の原子力発電所におけるシビアアクシデントへの対応に関する措置の実施について(指示)(平成23・06・07原第2号)」に基づき、中央制御室の作業環境の確保対策として、全交流電源喪失時にも中央制御室空調設備の運転を可能にするため、新たな電源車(高圧発電機車)(300kVA×2台)を配備し電源容量を増強しました。今後、新たに配備した電源車で必要な操作訓練を行い、8月19日から運用を開始する予定です。

さらに、8月末までには空調設備のダンパ(弁)操作用窒素ガスボンベの設置も予定しており、これらをあわせて事故時における中央制御室の作業環境の確保に万全を期してまいります。

なお、現在借用している電源車は新たな電源車の運用開始後に関西電力(株)殿に返却します。



【新たに配備した電源車(300kVA×2台)】